

: ° ☆。 , :: ★。 , :*: ° ☆。 , :*: ° 。 , :*: ° ☆。 , :*: ★。 , :*: °



みらいこども園

1月号

2018年1月10日
田園調布学園大学
みらいこども園
園長 長南 康子



, :*: ★。 , :*: ° ☆。 , :*: ° 。 , :*: ° ☆。 , :*: ★。 , :*: °

健康で、笑いの多い日々を

明けましておめでとうございます。

平成30年の年明けです。“一年の計は元旦にあり”ということわざがありますが、年の始めに目標をもちよりよい生活を創っていかうとする心構えをもつことは大切なことなのだと思います。

さて、皆様はどのような目標や願いをお持ちでしょうか？ 願いといえば、初詣で手を合わせて、家族や周囲の人たちの健康を祈ることは毎年変わらないことであり、誰でも同じような思いでおられることでしょう。今年も健康第一に更に付け加えて、明るく笑いの多い日々でありたいと願っています。

ところで、心身の健康をどのように見分けるかということの一説に、健康であるということは、自分のことだけではなく、他の人のことに思いが寄せられるということだそうです。健康状態の判断基準に他者の声もしっかり受け止められることということのようです。自分の体の具合が悪かったり、心配や悩み事で頭の中が一杯になっていたりする時、自分の苦しさや先にたち、人のことを考える余裕がなくなることがあります。優しい言葉をかけられても、今はそれどころではないということはありませんか？ 常に心も体も健康でありたいですね。体の健康に密接につながりのある心の健康の在り方に目を向けていきたいものです。“笑う門には福来る”とまた、ことわざが登場しますが、笑いが体を巡回して、免疫力を up させ、病気になりにくくすると言われていています。

ご家庭や園で小さな子ども達のいる生活は笑いが一杯です。大人は子ども達の笑顔に出会うことを何より望んでいます。そして、子ども達もまた、家族や園の大人たちの笑顔が大好きなのだと思います。勿論、信頼感に基づく厳しさ、教えも必要です。ユーモア、笑いに溢れる日常生活の中でこそ、時に真剣な大人の表情が子ども達の心に深く響くのではないかと思います。

皆様にとって、よりよい年となりますようお祈り申し上げます。
本年もよろしくお願ひいたします。(長南)



「始業式後の園庭」



新年おめでとうございます。元旦の朝目覚めに飛び込んだ2018年標語カレンダーは、【「よいことは」は先駆で行う!】これは『おはよう』『ありがとう』等の一言や相手を尊重する行動によって、家庭が和み、職場が潤っていく。“その一歩に何の遠慮のいらぬ”とありました。そして、最初の出勤日玄関でそら組の女兒に、「Oちゃんおはよう」と声を掛けたところ「とみ先生！明けましておめでとうございます。」「おめでとうございます。お正月は楽しかった?」「うん、お節料理の黒豆食べて美味しかったの！ママとパパはお野菜ばかり食べたよ」「そうなの、お煮しめが美味しかったのね。ありがとう。」と交わした言葉に心温まりました。なんて素敵な子どもに育てているんだろう。保育者やお友だちとの関わりを通して、生きていくうえでの大切なことを園で学んでいくのだと実感しました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。副園長 久富紀子

明けましておめでとうございます。新年を迎え、幼児クラスでは、子どもたちの「おめでとう」の元気な声が返ってきます。乳児クラスでも、言葉はなくても首を縦に振るしぐさが返ってくると、ご家族で新年の挨拶を幾度と交わされた様子が思い浮かびます。ささやかな姿から日常の生活の積み重ねが習慣として身についていくことを感じます。

数日目、新年早々になりますが、職員で研修を受けてきました。心新たに子ども達と向き合っていきたいと思いました。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

主幹保育教諭 中城真由美